

第11回オホーツク糖尿病教育研修会

メインテーマ：思い込みが強い患者さんのケア

オホーツク糖尿病教育研究会では、11回目の研修会を北見で開催いたします。CDEJ 更新単位の取得を目指していますが、資格に関係なく糖尿病ケアに関心のある方は、どうぞ奮ってご参加ください。

今回は各施設との情報共有を目的にして、参加型ディスカッションの形式を取り入れる予定です。

日 時：平成 29 年 3 月 25 日(土) 13:30～16:50

会 場：北見赤十字病院 北館 3 階 大会議室（北見市北 6 条東 2 丁目 1）

※今回の会場は、北見赤十字病院になります。お間違えないようにご来場願います。

参加費：会員 無料、非会員 500 円（当日受付にてお支払いください）

申込方法：当日参加も可ですが、資料作成のため氏名・所属・職種を FAX でお送り下さい。

（FAX 011-205-5177、問い合わせ TEL011-205-5111 小田桐）

修得単位：日本糖尿病療養指導士 認定更新のための第 1 群<看護職> 2 単位、
第 1 群<栄養士> 1 単位、または 第 2 群 1 単位のいずれかを選択（申請中）

プログラム

開会のご挨拶 オホーツク糖尿病教育研究会 世話人 柴田 祐美子 13:30～13:35

1. 教育講演 13:35～14:35

座長 北見赤十字病院 柴田 祐美子

「患者教育のための理論⑩ 『認知行動療法』

－ 患者さんの認知（ものの受け取り方や考え方）に働きかける方法 －

日本赤十字北海道看護大学 学長・教授 河口 てる子 先生

<休憩> 14:35～14:45

2. 事例紹介 14:45～16:45

司会 道立向陽ヶ丘病院 滝井 彩乃

●事例紹介

「完璧にこだわるあまり、ストレスを溜め込んでしまった1型糖尿病患者への支援」

北見赤十字病院 日本糖尿病療養指導士・看護師

相良 美幸 先生、安田 景子 先生

●グループワーク

●総評：北見循環器クリニック 糖尿病看護認定看護師 村松 一枝

閉会のご挨拶 オホーツク糖尿病教育研究会 世話人 滝井 彩乃 16:45～16:50

主催：オホーツク糖尿病教育研究会

共催：日本糖尿病教育・看護学会、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社